



第42卷 第4号

史学・地理学・考古学

中国殷周の古鏡…………… 梅原末治(1)

イギリスにおけるローマタウンの
歴史地理学的性格…………… 藤岡謙二郎(14)

——その分布、位置と町割を主にしてみた場合——

ギリシア的世界史像…………… 藤縄謙三(34)

——その形成とラテン語世界への伝達——

大唐天宝元年の戸口統計の地域的考察…………… 日野開三郎(61)

蜀漢政権の構造…………… 狩野直禎(85)

律令制財政機構の崩壊過程…………… 阿部猛(103)

——月料・要劇料・官田——

書評

梅原末治著：殷墓発見木器印影図録…………… 岡田芳三郎(119)

有光教一著：朝鮮磨製石剣の研究…………… 三上次男(122)

塩沢君夫著：古代専制国家の構造…………… 吉田晶(128)

安藤精一著：近世在方商業の研究…………… 原田伴彦(136)

紹介

D. H. Willson; A Royal Request for Trade.
天理市史編纂委員会編：天理市史 高知市史編纂委員会編：高知市史 上巻
学界消息・会告

史学研究会

京都大学文学部内

史学研究会

会 告

日本学術会議第五期会員候補者推薦

について

来る十一月二十日、日本学術会議第五期の会員選挙が行われます。史学研究会理事会では、全国区（第一部）の会員候補者として、

本会理事

井 上 智 勇 氏

を推薦することに決定いたしました。この旨御知らせいたします。

会員各位

史学研究会理事会

人物叢書

〈既刊26冊 発売中〉

吉田小五郎著	佐久間象山	坂上田村麻呂	行 基	国 姓 爺	ザヴィエル
石原道博著	大平喜間多著	高橋 崇著	井上 薫著	石原道博著	吉田小五郎著
（22）一〇〇円	（23）一七〇円	（24）一八〇円	（25）一三〇円	（21）一四〇円	（21）一四〇円
平尾道雄著	（26）一六〇円	（25）一三〇円	（26）一六〇円	（26）一六〇円	（26）一六〇円

〈新刊〉

日本女性史 宮城栄昌編
大井ミヅブ編
キリシタン研究会編
定価八〇〇円

日本古代人名辞典

第一巻（あ～え）500円 〈既刊〉
第二巻（お～か）500円 〈新刊〉

吉川弘文館 振替口座 東京 244

赤松俊秀著
鎌倉仏教の研究

既に大きな論争をまき起した親鸞に関する諸論考、教行信証・絵像などの厳密な史料批判にもとづく新説、一遍に関する定評ある業績と新史料、さらに慈円が思想史上注目される特質の機微を語る新発見の史料全文と、その論証などを取めた中世思想史仏教史研究に必見の大作。刊行以来ますます評価を高め第三刷を刊行。

近刊 影山堯雄著 日蓮教団史概説
田村円澄著 日本仏教思想史研究 浄土教篇

平楽寺書店 振替口座 東京 613番

京都市中京区東三条

な考え方には、かなり異論があるかも知れない。しかし、「古代」「中世」という言葉の規定の仕方を別にしても、明かに「変つた」ということだけは、どうしても信ぜざるをえないのである。

以上、この拙い論文が、「はしがき」に述べた意図を果したか否か頗る疑わしいが、何らか、問題の緒口を探りえたとなれば幸いである。

寺 侍

寺侍は坊官とも称され、本来は法体で普通門跡に奉仕し、寺院の雑務に當つていた。一六世紀末から彼等が寺院経営で重きを為すことは注目すべきである。禪苑に限つても、僧録司最嶽元良のもとの南禅寺金地院の平賀清兵衛は「本光国師日記」に散見して著名であるし、大徳寺芳春院玉舟宗瑠に仕える吉岡宗斎及び吉岡一家、相国寺鹿苑寺鳳林承章に侍する吉田権右衛門は、鹿苑寺領の年貢取納に當つて代官となり（開臺記一、寛永一、八・一〇、一六条、手作のための田地一〇ヶ所を承章から与えられている。同記一、寛

① 拙稿「畿内荘園の成立過程」〔北海道学芸大学紀要〕第一部九一二。

② 拙稿「位田について」〔日本社会史研究〕三三〇。

③ 興福寺領大和國若槻荘の例。菅孝次郎所蔵、徳治二年若槻荘土帳。

④ 拙稿「陵戸田について」〔日本社会史研究〕二二〇。

⑤ 拙稿「平安京の經濟構造」〔伊東多三郎編〕国民生活史研究』二所収。

二、一。実は彼は前述大徳寺僧玉舟宗瑠と実兄弟であり、久しくその事が判明しなかつたといひ、何か故ありけである。同記二、五條。この事があつてから彼の足は繁く芳春院にむかい、亡父の一七年忌の斎は鹿苑寺で営まれてに拘らず（同記一、寛永一、七・四、一〇、一六条、母妙清の葬儀は、実子宗瑠によつて手厚く行われており。同記二、慶長二、一〇、二三条、権右衛門の息權平は、大徳寺に出家して宗瑠の門に入り（同記三、慶安四、二・二三条、同、同年同月、一六条、心嶽宗欽と称してのち芳春院の第五世を嗣ぎ、元禄三年には勅によつて大徳寺第二四六世として入寺している（祀室山大徳、禪寺世譜、吉田権右衛門は鹿苑寺の寺侍であるにかかわらず、むしろ芳

春院の有力な外護者の一人であつたということができよう。かく吉田権右衛門をして大徳寺芳春院に向けさせたものは、宗瑠を兄弟とするという血のつながりであつたか、當時在野の禪苑として敬崇を誇つた、とくに北派の禪風であつたか（祀室山大、それとも京・大坂・堺などの町衆が広い範圍で出入したことと軌を一にしたものか。天守和尙研究筆記、いずれにしても、この種の俗体寺侍が統一的な封建政治の確立期における寺院経営上果す役割については、今後の追究がまたれるものである。（三浦圭一）

鉄剣、鉄斧が発見された。

「史林」バックナンバーのお知らせ

次の各号に限りバックナンバー若干在庫いたします。御希望の向は定価に送料(定価一〇〇円まで八円・一〇〇円以上一六円)を副えてお申込下さい。()内は定価

三三巻 一・二・五号(各冊八〇円)
三四巻 一・二合併号(一四〇円)・四号(八〇円)

三六巻 一・二号(各一〇〇円)
三八巻 二・三・四・五(各一〇〇円)・六号(二〇〇円)

三九巻 三・四・五(各一〇〇円)・六号(二〇〇円)
四〇巻 一・五(各一〇〇円)・六号(二〇〇円)

四一巻 一・二・三・四・五(各一〇〇円)
六号(二〇〇円)

四二巻 一・二・三号(各一八〇円)
史林総目録(一〜四〇巻)(二〇〇円)

隔頁記 第一 定価二千円 送料八〇円

史学研究会

振替京都五一五五番

執筆者紹介

梅原 末治	京都大学名誉教授
藤岡謙二郎	京都大学教授
藤縄 謙三	大阪府立大学助手
日野開三郎	九州大学教授
狩野 直禎	京都大学大学院学生
阿部 猛	北海道学芸大学助教授
岡田芳三郎	平安女子短期大学教授
三上 次男	東京大学教授
吉田 晶	京都大学大学院学生
原田 伴彦	大阪市立大学助教授

編輯後記

今号がお手許に届く頃は、暑さも一段と酷しくなることと思えます。

今号も前号に増して力篇雄論を掲載することが出来ました。名誉会員梅原先生の御寄稿

と、理事藤岡先生の御帰朝第一作とをいただき、嶺上花を添えることが出来ました。特に梅原先生には、御退官の時に御約束いただいたものです。また先生の御寄稿を機会に、三四巻四号以来種々な理由から中断していた口絵図版を復活いたしました。一読、しばし巷中の酷暑を忘れることが出来るものと、編集者一同、ひそかに自負して居る次第でございます。次号にも、会員の皆様のご力作のよせられますことを期待いたして居ります。(横山裕男)

訂正 前号奥付の 定価百円 は 一八〇円の誤りです。謹んで訂正いたします。

一九五九年六月二十五日印刷
一九五九年七月一日発行
定価一八〇円

史林 (第四二巻 第四号)

発行所 史学研究会
京都市東山区吉田本町
京都大学文学部内

理事 長 振替京都五一五五番
宮崎市定
編集主任 赤松俊秀

印刷所 中村印刷株式会社
京都市下京区西七条御所ノ内票町三九

THE SHIRIN

or the

JOURNAL OF HISTORY

Vol. XLII No. 4

Jul., 1959

CONTENTS

Articles :

- Old Mirrors of *Yin* (殷) and *Chou* (周)
Dynasties in China *S. Umehara* (1)
- On the Geographical Characters of the Roman
Towns in Great Britain..... *K. Fujioka* (14)
—Especially from the points of views of their location and
town planning—
- Greek Image of World-History *K. Fujinawa* (34)
—Its Formation and Transmission to the Latin West—
- Regional Study of Census-taking in the
First Year of *Ta-t'ang-t'ien-pao* (大唐天寶)..... *K. Hino* (61)
- Administrative Structure of *Shu-han* (蜀漢) *N. Kano* (85)
- Disintegrating Process of the Financial
Organization in the *Ritsuryô* (律令) System..... *T. Abe* (103)
—*Getsuryô* (月料), *Yôgekiryô* (要劇料) and *Kanden* (官田)—

Book Reviews & news

Published

by

THE SHIGAKU KENKYUKAI

(*The Society of Historical Research*)

Kyoto University, Kyoto, Japan